

私たち高校生は、九州中央自動車道の早期整備が、私たちの暮らしや将来の可能性を広げ、延岡市のさらなる発展につながると考えます。そこで、九州中央自動車道の早期整備と本路線がもたらすストック効果について、私たち高校生の立場から次のとおり提言します。

1 延岡市における定住人口および関係人口の拡大

交通アクセスの改善で時間的距離が大幅に短縮されるため、就労・進学を理由とした市外や県外への人口流出を防ぎ、周辺地域からの通勤・通学・定住を可能にする新たな選択肢が生まれます。また、アクセスが向上することで、延岡市の強みである温暖な気候や豊かな住環境がより身近な魅力となり、新たな移住者を惹きつけやすくなります。さらに、移動の利便性が高まることで「観光以上・移住未満」の訪れやすい環境が整い、ふるさと納税などの仕組みを活用したリピーターの獲得や、地域と緩やかに繋がり続ける層の拡大が期待できます。

2 アスリートタウンとしての知名度や話題性向上

アスリートタウン延岡アリーナやのべおか waiwai スタジアム等の施設整備とあわせ、交通インフラが整うことで、市民のスポーツへの関心向上や大会・キャンプ誘致の強力な推進に繋がります。さらに、来年度の国スポ・障スポ開催に向け、広域からの選手や観客をスムーズかつ快適に迎える受け入れ体制が確立されます。近年の健康志向の高まりに応え、高速交通網を生かして質の高いスポーツを観戦・体感できる環境を整えることは、市民の運動意欲を刺激し、健康増進や運動習慣の定着を後押しします。また、交通利便性の向上を「観るスポーツ」から「行うスポーツ」へと繋げ、市民の健康寿命を延ばし、賑わい溢れるまちづくりの推進することができます。

3 産業・経済活動の活性化

TSMC の九州進出に伴い、延岡市が半導体関連産業のサプライチェーンへ参入する絶好の機会を迎えております。本自動車道の開通は、半導体産業の誘致を通じた新規雇用の創出にとどまらず、国の関心と支援を呼び込み、本市の税收増加と市民生活の豊かさをもたらす不可欠なインフラ整備です。さらに開通すれば、沿線産業の発信や、商業施設の誘致が促進しやすくなり、地域内経済循環を確立でき、地元雇用の維持・創出と、遠出に頼らない利便性の高い暮らしが実現できます。

4 延岡が誇る観光資源のメジャー化

チキン南蛮や鮎やなといった延岡独自の「食の魅力」の認知度が高まり、それ自体を目的に訪れるドライブ客が増加すると考えられます。また、阿蘇や高千穂などの有名観光地からのアクセスが飛躍的に向上し、観光客が延岡市まで足を伸ばしやすい回遊ルートが誕生します。さらに、日帰り客の滞在時間の延長や宿泊客の増加につながり、市内の宿泊・飲食業を中心に地域全体へ大きな経済効果が波及し、地域経済の活性化へ大きく貢献することに繋がります。

5 防災・減災に寄与する命の道

内陸部を経由する確実な交通ルートの確保により、被害の最小化に貢献するとともに、広域からの支援物資や救助部隊をスムーズに受け入れ、復興支援を円滑に進めることが可能となります。また、熊本などの大きな病院へ急患を素早く運べるようになるため、災害時の大事な命を救う体制を、一段と強化することができます。

私たち高校生は、これからの延岡を担う世代として、九州中央自動車道の整備と、その先にある地域の未来について、これからも考え続けていきたいと思っています。

延岡市長をはじめ、九州中央自動車道の整備に関わる皆様には、私たち若い世代の声を受け止めていただき、国や関係機関に対して、九州中央自動車道の早期整備を強く働きかけていただくとともに、完成後の道路を地域の発展に繋げていく取り組みを進めていただくことをお願いいたします。

私たち高校生の提言が、これからの延岡市、そして九州中央自動車道沿線地域の未来を考えるきっかけとなることを願います。

ぜひ、私達の声を国に届けてください。

令和8年8月26日

宮崎県立 延岡星雲高等学校

普通科 3年1組 白石 莉子

フロンティア科 3年5組 垂水 花南里

フロンティア科 3年5組 平野 璃空